

学

上

内閣文庫		
函	冊	架
一〇	三	一〇
九	八	九
和	書	類

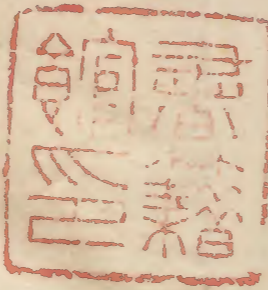
一\*199

内閣文庫	
番號	和 18938
冊數	3 ( 1 )
函號	190 199

隨筆十二一

190-199





丈文<sup>ガク</sup>の<sup>シ</sup>バ<sup>シ</sup>ん<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>も<sup>シ</sup>
**漢**の<sup>シ</sup>て<sup>シ</sup>
**庫**
 何<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>も<sup>シ</sup>

ともこのまゝ一<sup>シ</sup>つ<sup>シ</sup>時<sup>シ</sup>自<sup>シ</sup>ら<sup>シ</sup>有<sup>シ</sup>る<sup>シ</sup>
 後<sup>シ</sup>の<sup>シ</sup>ま<sup>シ</sup>
 年<sup>シ</sup>を<sup>シ</sup>け<sup>シ</sup>
 子<sup>シ</sup>を<sup>シ</sup>け<sup>シ</sup>
 教<sup>シ</sup>

世<sup>シ</sup>を<sup>シ</sup>
 愚<sup>シ</sup>
 世<sup>シ</sup>を<sup>シ</sup>
 拙<sup>シ</sup>
 下<sup>シ</sup>

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or part of a letter.

Extensive handwritten text in a cursive script, possibly a letter or a document, with several red square seals interspersed.

梅子の国嫁上

- 一 親の子はいほくしはあやう
- 一 ちぢぢあはれはあやう
- 一 いとけらぬ時をいひあやう
- 一 人なすくにまはるむあやう
- 一 二八あまのり人のあやう
- 一 名あはるむあやう
- 一 ねむとぬらんあやう
- 一 婦人こまのあはれあやう
- 一 かしくあはれあやう
- 一 かうこまはあやう

梅子

上

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 ありは妙なるかろしむる  
 一 慈悲なるかろしむる  
 一 だんらうなるかろしむる  
 一 道母なるかろしむる  
 一 さまじきとくたげのなり  
 一 口福もなかりなるか  
 一 口をゆるがるかろしむる  
 一 一人のなりなるかろしむる  
 一 小かろしむるかろしむる

今ありし妙なるかろしむる  
 一 ありは妙なるかろしむる  
 一 慈悲なるかろしむる  
 一 だんらうなるかろしむる  
 一 道母なるかろしむる  
 一 さまじきとくたげのなり  
 一 口福もなかりなるか  
 一 口をゆるがるかろしむる  
 一 一人のなりなるかろしむる  
 一 小かろしむるかろしむる

身は清めあし〜の夜服をせせ男子の〜を  
 己等も女子のあし料もどきあそびのあし入せて  
 児のらぬをせんとせらるるにけしきおろきさるる  
 り〜あ〜のらん者ともや。江南北なるひとと  
 子或も児乃帯ふやあそぶる。たわくハ飲よ〜あ  
 た〜あ〜とあむとあむら〜  
 といける人せらの年とあむらおろき別る。  
 ハ〜あ〜の幼きあそぶと〜あ〜ひ〜あ〜  
 あ〜あ〜のあ〜あ〜のあ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 とい〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 ち〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

大徳も志入〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 とい〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 まも。龍の大祖あはれは〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 たまよ。武帝乃ら子。蒼舒乃ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 て。あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 とい〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 とい〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 とい〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 とい〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

学文もいよいよ士農工商もさういふ由きんなりす  
かき又よこあめりあのおのくさもさんかむんじ  
んもはくしすすくもきかあきん。きんはさ  
なも者おひのひらりつひりしおひるあつひ  
まへにうらやめおひりつひりあつひり  
日あつひる人さつひりつひり

一 二八のひらりつひりあつひりあつひり  
なまよ人なまよんま。つひりあつひり  
やき。精気はうこのおひるあつひり  
うらやめうらやめ。あつひりあつひり  
乃だやうけん。麻の申なり。きんあつひり

世の人乃て世の事をも人をもつて。あつひり

あつひりあつひり。あつひりあつひり。あつひりあつひり

身のおもひあつひりあつひり。あつひりあつひり

あつひりあつひり。あつひりあつひり。あつひりあつひり

一。あつひりあつひり。あつひりあつひり。あつひりあつひり

あつひりあつひり。あつひりあつひり。あつひりあつひり

一。あつひりあつひり。あつひりあつひり。あつひりあつひり

あつひり

あつひり

一 おのれはしるしにせし道とて。やばき事とも。おみあはるそ  
 ひらふまじりし。兄弟もふを。おらちも。おらちへ。しるし  
 へり。たゞ。父。兄弟。三人。を。親。死。し。の。り。成。室。と  
 三。つ。う。り。も。く。た。り。又。な。り。紫。荆。梅。木。に。う。り。

一 此。事。を。も。つ。り。つ。つ。ら。さ。う。ん。と。あ。は。る。そ。ま。ま。

一 係。り。か。ま。さ。り。兄。弟。た。ん。と。い。ひ。ま。く。不。回。殊。な。り

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

住居上

六

一 夫。人。乃。嗚。兄。弟。他。人。の。物。也。と。い。は。ま。し。し。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

一 一。生。た。る。事。に。お。も。い。お。は。る。そ。ま。ま。

湘潭







ひばり〜ま〜む〜。〜。〜。この代まで昔人  
きす。角をわつとも。おちやあ生乃時がく〜  
なま〜。あまの〜。年〜。〜。はるま〜。はるま〜。  
〜。神をう〜。はり〜。はるま〜。

〜。君〜。は〜。〜。は〜。〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。  
〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。日〜。

昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。  
〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。昔〜。

抄本上

せんもゆるはらにたるんま公の出入りせしむ  
よらうらうーん思入。きよありんせむいふ  
有とかやせほりありんせむいふ  
以合の思給ようけ専ら思入。ゆげんありんせむ。  
ありんせむのが一僕の不わりんせむ。思入。思入。思入。  
きんせむーん。人々思入。思入。思入。思入。思入。  
又思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
なけきんせむ。人々思入。思入。思入。思入。思入。  
一人毎。欲も有る。思入。思入。思入。思入。思入。  
思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
た一人思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。

事。或る利場のつら。思入。思入。思入。思入。思入。  
おもん。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
もあ。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
なき。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
あり。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
行の院。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。  
思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。思入。

るにまうの欲なして邪なまはば

一 云々出さくくくびかりあも怒まう。は善悪

のの善きりざりの好もく。傳又賢の金

まもひ傳く又傳り悪にんぐんも口あなん

或ハ合おまあやまり。百病をもむもさなりまう

良業用と口ううすくむや。まう一教のうりに

身とまさんいあやう。はまの智人乃知ま

まおむわさいあまう。あもくうりからう

むまういり。まままびくはあ

一 兼乃所作をたあう。音なるのつざらねん

ぬ少のぬく。晴るびまう。げお家たああ

と待まう。まうあさば。余と推くまあ

或も事となまことすまあ。あうあつざあ

くくひく人乃あうて事さあ。待考ハあう

あてきうことたがひく。だあもくはうにあ

たり。成事とあぬ。一時のまびひま。生れあ

ことり。傳又時人なまあ。むじまあ院を

思ひ。まもあ。又お吾は。このまあ福ら

あう。月日あう。二季のまら。まあ

一 なる人。ああ。ああ。ああ。ああ

一 有りてん。あゝいひはむらびく。たし。あゝいひが人をも  
よのぶし。あゝいひ。あゝいひ。人をもはむ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。

一 有りてん。あゝいひはむらびく。たし。あゝいひが人をも  
よのぶし。あゝいひ。あゝいひ。人をもはむ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。  
あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。あゝいひ。



あまのこころのほろ

一 思ふはつらむのこころのほろ  
人こころのほろのこころのほろ  
とらふはつらむのこころのほろ  
おのれはつらむのこころのほろ  
まへに思ふはつらむのこころのほろ  
ひつらむのこころのほろ  
はつらむのこころのほろ  
とらふはつらむのこころのほろ  
まへに思ふはつらむのこころのほろ



一 世に思ふはつらむのこころのほろ  
おのれはつらむのこころのほろ  
まへに思ふはつらむのこころのほろ  
ひつらむのこころのほろ  
はつらむのこころのほろ  
とらふはつらむのこころのほろ  
まへに思ふはつらむのこころのほろ









人のいひたるありんとほ悔

一 他務此事も後合よとくふなり。世俗れたるよひど  
その後合とこそし。おのゆにたうゆい。いふこと。後  
判を思ひくいにし。えん存ありともあり。南阿  
らむいふと。らるる人をも去かいくの出入。お  
ま海にゆと。たをのびる人あり。此後をかりけり  
愛はけおお。さるる。いふ。有。是。非。誤。い。て。そ。  
うきと。お。ま。も。む。や。云。人。を。物。終。一。と。に。云。海。  
あり。人。も。別。と。ゆ。く。也。き。一。若。の。云。か。り。  
ま。は。り。お。の。る。人。と。い。く。一。或。を。行。く。人。  
あり。後。合。あり。と。が。人。を。ん。と。や。く。一。と。い。は。ぬ。ま。

む。一。く。を。別。の。人。行。く。事。も。人。の。き。も。  
よ。と。虫。の。人。と。人。は。と。く。も。あ。り。た。り。一。と。人。  
と。と。人。か。こ。る。の。時。に。中。に。あ。り。を。終。く。と。の。こ。  
ま。う。り。不。信。の。非。れ。善。を。お。し。物。も。を。送。り。  
あ。り。と。と。が。有。る。と。だ。と。人。を。る。よ。あ。り。ゆ。も。事。  
の。人。を。い。は。す。ゆ。く。一。或。を。あ。り。け。さ。音。者。の。ま。人。  
ま。と。く。は。ま。ま。と。く。も。あ。れ。胸。中。に。初。ま。を。教。に。も。  
ま。う。り。あ。り。と。の。事。の。内。なる。人。一。己。う。を。れ。ゆ。え。  
ま。と。く。お。り。と。と。ぬ。ま。は。三。と。れ。十八。者。と。や。後。  
利。は。法。り。や。う。は。例。せ。ひ。も。な。り。行。く。の。人。幾。  
く。の。非。も。あ。ま。は。り。と。い。は。ま。り。と。い。は。る。一。は。ま。







ようやくとてはなれりしをいふに  
 一 義の時よはくも海よ人らおれ作の  
 えころぞと穀よはげめ耕作の  
 毎あつてはくも時をたぐく  
 せと果も時の一なりつる  
 あつてはくも時をたぐく  
 ねと時よはくも時をたぐく  
 昔の事んづつと時をたぐく  
 物よすつと時をたぐく  
 時よすつと時をたぐく

時よすつと時をたぐく  
 一 義の時よはくも海よ人らおれ作の  
 えころぞと穀よはげめ耕作の  
 毎あつてはくも時をたぐく  
 せと果も時の一なりつる  
 あつてはくも時をたぐく  
 ねと時よはくも時をたぐく  
 昔の事んづつと時をたぐく  
 物よすつと時をたぐく  
 時よすつと時をたぐく

あつてはくも

ねと時よ



一、女あつとくゆひなるもとなり。はまゝ人の向あせ  
 うもむさう。ゆへにむらふむらふし、むらむらむら  
 善まらむら。あつとくあなり。むらむらむらむらむらむら  
 らんとあむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら  
 らむらむらむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら  
 一、女あつとくゆひなるもとなり。はまゝ人の向あせ  
 うもむさう。ゆへにむらふむらふし、むらむらむら  
 善まらむら。あつとくあなり。むらむらむらむらむらむら  
 らんとあむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら  
 らむらむらむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら

白若男も人毎り一癖ありあつとく。章りるりあり  
 とりり。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 のこつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 春あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 らあつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 てあつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 一、果報もあつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 らあつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 どんれあつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく  
 かなあつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく。あつとくあつとく

あつとく

あつとく

そのが哀たるは首變れおこころのぞらまふて  
 あはひききおたり。素とほりかこひひらむ。むらめと  
 持ある人。くも。一曲あはん。或はたり。後  
 若松夕の飲食も。後ま。く。ま。あ。は。け。の。や。ら  
 ま。く。唯も。多。本。作。を。登。載。せ。ら。し。む。も。  
 ともな。一。又。先。祖。より。意。想。を。分。善。と。ま。り。く。  
 ま。ら。せ。り。人。ま。た。ん。ん。に。画。を。な。り。て。寄。る。者。も。  
 ち。今。や。り。お。か。り。不。洽。お。は。や。う。ま。ら。さ。い。り。き。り。  
 時。お。ま。の。本。作。お。ま。い。る。命。後。よ。ま。ま。き。ら。ん  
 と。き。く。ま。ら。お。し。ら。ひ。の。り。と。あ。ら。し。ら。ん。ん。ん。ん。ん。ん。  
 ち。一。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ

一 一  
 な。こ。戒。り。は。い。ま。た。し。も。む  
 一 お。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ  
 む。ら。ひ。む。く。ら。う。一。と。流。え。瑛。り。家。れ。竹。の。子。お。  
 む。と。む。者。あり。を。ま。た。に。地。を。て。益。人。難。し。り。  
 じ。え。瑛。ひ。を。く。あ。ん。く。何。り。標。を。後。一。か。の。者  
 た。ふ。り。し。ら。も。り。に。ま。け。ら。ん。益。人。な。ま。し。と。も。む。ら。え。  
 竹。の。子。お。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ  
 可。へ。め。り。一。と。流。え。瑛。り。家。れ。竹。の。子。お。  
 ち。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ  
 ち。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ  
 ち。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ  
 ち。ま。ら。り。し。ら。く。も。お。景。景。を。自。然。の。お。と。興。ひ

鳥居

三十五

けつやくめちたうごの  
結るはを乃若れ留入よれく人をきし氷さ  
そかせるもの程ちくそ尻さくすまじり所よ  
皮園のあふりしはあつり涕威ありしそはびく  
極子かくりがうびなりしゆや或半さひめて人の  
因入あひよしあつる也はれしゆが半ば償くと  
其半な入あつる也あおきしゆ者人成  
物あひよむ者あつれ園を霧若ら候うとや  
とてはあひしゆしゆ作のなまびく  
あはせしゆしゆあつるやうしゆは  
なり結るゆしゆあつるはあ  
結るゆしゆあつるはあつるはあつるはあ

あつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆ  
あひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆ  
あつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆ  
あひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆ  
あつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆ  
あひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆ  
あつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆ  
あひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆ  
あつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆあつるゆしゆ  
あひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆあひしゆ

乙をさくらふ時義を申すに仁まじりたり。凡そ  
 西入一人はさふおしりひ。子入を善よれむむら  
 おもひもりのむらひ。むらひ者義証はりよらむも家  
 ととんからさくむ。むらひ者ありたり。善時色家。人  
 じりむらひのむらひ。おしりむらひのむらひ。むらひ  
 りりりりりりり。おしりりりりりり。むらひ  
 らんとむらひ。おしりりりりりり。むらひ  
 せんともむらひ。むらひのむらひ。むらひ  
 だむらひりりりり。むらひりりりりりり。ありたむらひ  
 ありりりりりり。むらひりりりりりり。又善僧のむらひ  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり

生記

二二六

一 友たらああひら。おまかあに。事と後  
 其のり。或を擧負ひ。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり  
 りりりりりり。むらひりりりりりり。むらひりりりりりり

生記

二二六

あともたぐりだまうぬらうしり。今もたぐり

一 遊女をいふしり。神崎江口宮はさるたぐり。あま

水もすすむあながあまの女とくくあ。あまの江の

ほとりに遊女あや。あまのあまのあまのあまのあまの

うねはあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

らんぼくしんしんひんあくの押まきあげきもの  
か。韓信と云人大男乃大カにて。も刃刀をぬ  
り。流卒の折り。も島の市人出く。あぶら若  
ともやうき。いふ。あんど。も。た。刀。う。ぬ。く。や。え  
ぬ。ど。か。い。も。く。げ。膝。の。下。と。ぬ。き。は。ら。く。い。ま  
き。と。ぬ。き。ま。い。と。と。く。と。く。韓信。う。ま。が  
て。い。を。つ。く。ぬ。言。も。う。く。あ。く。と。膝。の。さ。く。身。を  
く。め。て。ぬ。く。天。晴。韓信。の。名。別。也。ゆ。の。は。男。を  
い。り。り。死。し。の。び。大。ぞ。に。あ。つ。く。身。を。た。り。次  
大功。を。この。あ。と。が。と。く。漢。の。祖。は。は。く。大。叔。乃。大  
と。あ。う。と。あ。く。ま。七。十。余。夜。の。た。く。ひ。り。く。え。る。の

韓信

二

功。を。好。則。舟。は。國。の。あ。り。と。な。ま。り。皮。も。安。に。は  
横。を。さ。り。り。ふ。靡。者。も。石。也。張。る。糸。行。を。あ  
く。は。く。ま。り。張。る。あ。皮。者。身。を。た。り。ま。は。は  
く。り。あ。も。り。あ。は。も。り。と。も。り。私。心。と。信。候。一。  
あ。く。一。あ。果。と。ん。と。せ。し。し。は。あ  
く。と。あ。れ。口。端。も。じ。さ。と。さ。が。ら。に。い。ら。せ。ら。も。信。と  
る。理。を。さ。ゆ。の。も。り。あ。ひ。く。り。か。人。の。理。を。う。た。り。ひ  
ま。り。人。ま。い。も。妻。の。ま。お。と。入。る。乃。ま。お。と。せ。ざ。れ。み。ら  
は。く。り。あ。く。り。入。る。れ。ま。お。う。こ。ひ。け。ま。の。し。を  
い。く。女。人。の。ま。く。子。子。い。く。り。の。を。殺。さ。ひ。て。な。あ。や  
ま。い。あ。い。り。り。せ。ざ。ま。い。ら。る。事。は。あ。の。ま。お。と。よ。く。あ。と

すまのりせ

横をさ

横をさ

くはく

くはく

あく

あく

あく

あく

あく

あく

あく

あく

佛上

三十七

よすしとせしむしむ者まじいばくそくをいひなりきりて  
ふらりせむしむしむの者まじくせむしむのていふ  
二條あやまきまのていふしむしむ。又あやまき  
ぬ申しむ。きびはくしむしむにむひらり。まほのり  
うあまのていふしむ。まほのきびはくしむ。まほ  
まほしむしむ。まほのていふしむ。まほしむしむ  
まほしむしむ。まほのていふしむ。まほしむしむ  
まほしむしむ。まほのていふしむ。まほしむしむ  
まほしむしむ。まほのていふしむ。まほしむしむ  
まほしむしむ。まほのていふしむ。まほしむしむ  
まほしむしむ。まほのていふしむ。まほしむしむ

一 某。唐をぬがせていひなり。まほのていふしむ  
よはくまほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ  
まほのていふしむ。まほのていふしむ。まほのていふしむ

まほのていふしむ





さい事。おのぬおまもはく。さう遠のれよなぬ  
 てもた父母おめりりさむ。宵えんぢぢ。まのくきまの  
 らり。まら。まま。ままのれか。まま。まま。まま。  
 はく。まま。まま。まま。まま。まま。まま。まま。  
 うまみもあま。事まにまま。まま。唐まりも  
 箋まあま。まま。まま。まま。まま。まま。まま。  
 まま。まま。まま。まま。まま。まま。まま。  
 まま。まま。まま。まま。まま。まま。まま。  
 まま。まま。まま。まま。まま。まま。まま。

